

いわふね 自然愛好会 会報

2024. 8. 30

第 60 号

発行:いわふね

自然愛好会

会長代行就任の挨拶 ～一里塚を目指して～

会長代行 梅田 温美

富樫繁春会長から5月31日付で、役員および会員宛の手紙とともに辞表が出され、これを受けて、緊急の臨時三役会が2回開かれました。そして、7月20日の役員会で会長代行に私梅田が決まりました。次の総会まで代行を行い、2025年度の総会で指名され受諾された方がいわふね自然愛好会会長となります。総会においては規約改正が予定されています。

退任の挨拶にありますように、富樫会長は、自然愛好会の設立までと設立後の事務局長、そして会長として20年間の長きにわたり会のバックボーンとして活動されました。会への粉骨砕身の活動、本当に御苦労さまでした。私は地形・地質巡検の付き合いがある縁で会に誘われ入会しました。2012年から副会長を引き受けています。

前会長になってからは、会は当初の自然観

察会と学校などの学習支援に加え、行政や地域からの依頼と会員の要望を受けて、自然調査を行って報告書を出版するという3本柱の活動を行うようになりました。会員の多くは植物に興味をもつ方が多いですが、これに地形・地質・昆虫・きのこ・両生爬虫類・鳥類・哺乳類・海産動物など多様な分野の会員の力を結集して地域の自然調査を行い、これまで報告書を9集まで発行し、私はわき役として参加してきました。



設立当時の会員が病気と高齢化を迎えて去っていく今日、次年度からは会員数の多い植物に関わりあう活動に回帰していくことになると思います。私の会長代行はその一里塚としての役割と思っています。どうぞよろしくお願い致します。

退任の挨拶 ～長い間お世話になりました～

富樫 繁春

急に物が見えにくくなり友人の勧めで病院に行くと、視野が欠けて治らない難病と診断されました。そこで、休養と治療に専念するために任期の途中ですが、会長職を5月末で辞職いたしました。また、残された視力と日中のわずかな時間を使って、10年前に補助金を得ながら未着手だった調査報告書（下越地方の二枚貝の分布、胎内扇状地のイバラトミヨ生息状況）の出版の責任を果たすため、活

動も休会させていただくことにしました。多大なご迷惑をお掛けして申し訳ありません。

2003年、いわふね自然愛好会設立準備会事務局長に始まって、2004年創設。事務局長2期、2008年副会長、2009年4月初代柴田会長の急逝に伴い会長代行。2010年から会長と22年余の長きにわたって皆様方からは多大なご指導ご鞭撻をいただきました。ありがとうございました。

《観察会1》

新保岳 自然観察会

5月19日（日）晴天。新保岳（852.2m）の自然観察会が開催され、20名（市民10名、うち中・高生各1名、会員10名）が参加した。

当初は、林道：桑川口を計画していたが、下見の結果、登山道が中腹で道がなくなることが分かったので、塩野町口に変更して開催。旧塩野町小に集合し、開会式後に車に分乗して登山口へ。途中、フジやホオノキ、タニウツギ、ハクウンボク、トチノキなどが満開であった。

登山口（408m）から2班に分かれて登山道へ。稜線までは木組みの階段。稜線に出るとブナの根元から出ている枝に実がついていて、早速、観察開始。登山道には1/5や2/5などと距離を示す木札が下がっていて、3/5辺りからユキザサの小さな白い花が目立ちはじめ、4/5では黄色の花へと変わった。山頂まで続くブナ林と若葉は見事！



トチノキ

ブナの実



ホウノキ



ブナ平に着くとブナ巨木林が現れ、林床には、ユキザサ、ナルコユリなどが光を争そっている様相で傍には、旧塩野町小の児童がブナ苗木を植林した記念標柱も建っていた。小休憩の後、再び頂上をめざす。登山道脇の腐葉土には、葉が1対で縁が波打つ特徴あるジンバイソウが現れ、山頂直下まで続いた。山頂には、タムシバの白い花が1本見られた。

山頂からは、栗島や佐渡、東港辺りが眺望され、ここで集合写真。山頂には木陰がないので直下の広場まで降りて昼食をとり、帰りは所々急な坂を、ロープなどを頼りに慎重に下りてきた。



タムシバ

【参加者の声】

楽しかった観察会

齋藤 さん(神林・高1)

私が、今回の登山で楽しかったことは3つあります。

1つ目は、様々な植物が見られたことです。聞いたことのない植物や名前は知っているけど見たことのない植物をたくさん見れてとても楽しかったです。

2つ目は、色んな鳥や虫の音が聴けたことです。鳥の音を聴いて、疲れが少し減った気がしました。さらに、セミの種類がいくつかあることに驚きました。私は、今回の登山でハルゼミの音を初めて聴くことができました。

3つ目は、山を下るときです。坂がとても急になっていて、近くの木の枝やロープを掴んで下るのが楽しかったです。

今回の登山で、様々なアクシデントがありましたが、体力皆無の私でも、なんとか頂上にたどり着くことができ嬉しかったです。

山野草の美しさを満喫

遠藤 さん(村上)

登山を始めてまだ数年ですが、里山にもいろんな植物が多く、なかなか名前を覚えきれずにいたので、今回の観察会はとても興味深く参加させていただきました。イワカガミ、ユキザサは特に多く見られ、ユキザサは標高が高くなるにつれて、花が白から黄色へと違うことや、ツクバネソウは羽根つきの羽根の様な形の実になることなど。

新緑のブナ林。数百年は経ているだろう巨木を眺め、この光景に癒され、新保岳山頂からは栗島や佐渡も見え、一つひとつ説明を聞きながら、ただ頂上を目指すだけでなく、これらの山野草の美しさも観察しながら、また、登山を楽しみたいと思います。



ユキザサ

ジブリの世界を感じた観察会

小松 さん(村上)

この度、観察会へ参加したいと思ったのは、山登りをしていて四季折々の植物を楽しむことができましたが、花の名前はいつもあやふやなことが多かったので、今回参加して、知らなかった植物の一つでも知ることができたらいいなと思ったからです。

一度、その植物の説明を聞くと不思議とその花が目について、直ぐに「あっ、この花もそうだ！」

5ページに続く

新保岳自然観察会下見植物リスト

日時:2024年5月9日

場所:桑川から登山口へ林道を登り登山口へ～ブナ林～山頂でお昼～下山～ブナ林～登山口(当日とは違っている)

参加者 :富樫春、関、河内、安達、中村 計5名

番号	和名	科名	備考	番号	和名	科名	備考
1	アオハダ	モチノキ		35	ツクバネソウ	シュロソウ	
2	アキノキリンソウ	キク		36	ツリバナ	ニシキギ	
3	アクシバ	ツツジ		37	ツルアリドオシ	アカネ	
4	イワガラミ	ユキノシタ		38	テツカエデ	ムクロジ	
5	ウゴツクバネウツギ	スイカズラ		39	トウゲシバ	ヒカゲノカズラ	
6	ウリハダカエデ	ムクロジ		40	トケンラン?	ラン	葉だけではつきりしない
7	ウワミズザクラ	バラ		41	トチバニンジン	ウコギ	
8	エゴノキ	エゴノキ		42	ナツハゼ	ツツジ	
9	エゾアジサイ	アジサイ		43	ナナカマド	バラ	サビバナナカマド?
10	エゾイタヤ	カエデ		44	ノゲシ	キク	
11	エゾユズリハ	ユズリハ		45	ノダフジ	マメ	
12	オオイワウチワ	イワウメ		46	ハイイヌツゲ	モチノキ	
13	オオカメノキ	スイカズラ		47	ハウチワカエデ	ムクロジ	
14	オオバクロモジ	クスノキ		48	ハクウンボク	エゴノキ	
15	オクチョウジザクラ	バラ		49	ハナヒリノキ	ツツジ	
16	オクモミジハグマ	キク		50	ハンショウヅルの仲間	キンポウゲ	
17	ガクウラジロヨウラク	ツツジ		51	ヒメモチ	モチノキ	
18	カモガヤ	イネ		52	フキ	キク	
19	カンスゲの仲間	カヤツリグサ		53	ブナ	ブナ	
20	キタゴヨウ	マツ	別名:ヒメコマツ	54	ホツツジ	ツツジ	
21	キヨタキシダ	イワデンダ		55	マルバアオダモ	モクセイ	
22	クマイチゴ	バラ		56	マルバマンサク	マンサク	
23	クリ	ブナ		57	ミズナラ	ブナ	
24	コシアブラ	ウコギ		58	ミヤマカタバミ	カタバミ	
25	コシノカンアオイ	ウマノスズクサ		59	ミヤマガマズミ	ガマズミ	
26	コナラ	ブナ		60	ミヤマハコベ	ナデシコ	
27	サルナシ	マタタビ		61	ムラサキシキブ	シソ	
28	スミレサイシン	スミレ		62	ヤマブドウ	ブドウ	
29	タガネソウ	カヤツリグサ		63	ヤマモミジ	カエデ	
30	タムシバ	モクレン		64	ユキグニミツバツツジ	ツツジ	
31	タラノキ	ウコギ		65	ユキザサ	ユリ	
32	チゴユリ	イヌサフラン		66	ヨモギ	キク	
33	チマキザサ	イネ		67	リョウブ	リョウブ	
34	ツクバネ	ビャクダン					

葡萄池の平自然観察会下見植物リスト

日時:2024年6月3日

場所:葡萄スキー場の大駐車場～7号線をまたいで、池の平へ。旧国道を通過、池のある所まで歩く。

参加者: 田川、工藤、斎藤美、安達、中村 計5名

番号	和名	科名	備考	番号	和名	科名	備考
1	アカツメクサ	マメ		76	ショウジョウバカマ	シュロソウ	
2	アカメガシワ	トウダイグサ		77	スイバ	タデ	
3	アキカラマツ	キンポウゲ		78	スギナ	トクサ	
4	アキノゲシ	キク		79	ススキ	イネ	
5	アメリカセンダングサ	キク		80	スマレサイシン	スマレ	
6	イタチハギ	マメ		81	セイヨウタンポポ	キク	
7	イチハツ	アヤメ		82	セリ	セリ	
8	イヌガヤ	イチイ		83	ゼンマイ	ゼンマイ	
9	イヌガラシ	アブラナ		84	タガネソウ	カヤツリグサ	
10	イヌタデ	タデ		85	タケニグサ	ケシ	
11	イラクサ	イラクサ		86	タチツボスミレ?	スマレ	
12	イワガネソウ	ホウライシダ		87	タニウツギ	スイカズラ	
13	ウチワドコロ	ヤマノイモ		88	タネツケバナ	アブラナ	
14	ウド	ウコギ		89	タラノキ	ウコギ	
15	ウマノミツバ	セリ		90	チゴユリ	イヌサフラン	
16	ウリノキ	ミズキ		91	チヂミザサ	イネ	
17	ウワバミソウ	イラクサ		92	ツタウルシ	ウルシ	
18	エゴノキ	エゴノキ		93	ツククサ	ツククサ	
19	エゾアジサイ	アジサイ		94	ツルアジサイ	アジサイ	
20	エゾイタヤ	ムクロジ		95	ツルウメモドキ	ニシキギ	
21	エゾノギシギシ	タデ		96	ツルキンバイ?	バラ	ヤブヘビイチゴかも?
22	エンレイソウ	シュロソウ		97	ツルマンネングサ	ベンケイソウ	
23	オオイタドリ	タデ		98	ツルリンドウ	リンドウ	
24	オオウバユリ	ユリ		99	テンナンショウ属	サトイモ	
25	オオカメノキ	ガマズミ		100	トウバナ	シソ	
26	オオニワトコ	ガマズミ		101	ドクダミ	ドクダミ	
27	オオバクロモジ	クスノキ		102	トチノキ	ムクロジ	
28	オオバコ	オオバコ		103	トリアシショウマ	ユキノシタ	
29	オオバタネツケバナ	アブラナ		104	トリガタハンショウツ	キンポウゲ	
30	オオハナウド	セリ		105	ナルコユリ	キジカクシ	オオナルコ?かも。
31	オカトラノオ	サクラソウ		106	ナワシロイチゴ	バラ	
32	オクチョウジザクラ	バラ		107	ノアザミ	キク	
33	オニグルミ	クルミ		108	ノダケ	セリ	
34	オニタビラコ	キク		109	ノダフジ	マメ	
35	カキドオシ	シソ		110	ノビル	ヒガンバナ	
36	カタクリ	ユリ		111	ノブドウ	ブドウ	
37	カタバミ	カタバミ		112	ハナニガナ	キク	
38	ガマズミ	ガマズミ		113	ハマヒルガオ	ヒルガオ	
39	カメバヒキオコシ	シソ		114	ハルジオン	キク	
40	カモガヤ	イネ		115	ヒメアオキ	ガリア	
41	カラスビシャク	サトイモ		116	ヒメオドリコソウ	シソ	
42	カラマツ	マツ		117	ヒメジョオン	キク	
43	キタゴヨウ	マツ		118	ヒヨドリバナ	キク	
44	キッコウハグマ	キク		119	フキ	キク	
45	キツネノボタン	キンポウゲ		120	フタリスズカ	センリョウ	
46	キツリフネ	ツリフネソウ		121	フランスギク	キク	
47	キバナイカリソウ	メギ		122	ホウチャクソウ	イヌサフラン	
48	キラソウ	シソ	ニシキゴロモかも。	123	ホオノキ	モクレン	
49	キレハノブドウ	ブドウ		124	ボタンツル	キンポウゲ	
50	キンミズヒキ	バラ		125	ホツツジ	ツツジ	
51	クサギ	シソ		126	マタタビ	マタタビ	
52	クジャクシダ	ホウライシダ		127	マユミ	ニシキギ	
53	クズ	マメ		128	ミズキ	ミズキ	
54	クマイチゴ	バラ		129	ミズタマソウ	アカバナ	
55	グミ属	グミ		130	ミズナラ	フナ	
56	クリ	ブナ		131	ミゾソバ	タデ	
57	クルマバナ	シソ		132	ミツバ	セリ	
58	ケアブラチャン	クスノキ		133	ミツバアケビ	アケビ	
59	ケキツネノボタン	キンポウゲ		134	ミミナグサ	ナデシコ	
60	ケキブシ	キブシ		135	ミヤマカタバミ	カタバミ	
61	コウゾ	クワ	ヒメコウゾかも	136	ミウガ	ショウガ	
62	コウゾリナ	キク		137	ムラサキシキブ	シソ	
63	コオニタビラコ	キク		138	モミジイチゴ	バラ	
64	コシアブラ	ウコギ		139	ヤグルマソウ	ユキノシタ	
65	コナスビ	サクラソウ		140	ヤブニンジン	セリ	
66	コハコベ	ナデシコ		141	ヤマウコギ	ウコギ	
67	コマユミ	ニシキギ		142	ヤマウルシ	ウルシ	
68	サイハイラン	ラン		143	ヤマグワ	クワ	
69	サカゲイノデ	オシダ		144	ヤマモミジ	ムクロジ	
70	サルトリイバラ	サルトリイバラ		145	ユウガギク	キク	
71	サワハコベ	ナデシコ		146	ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	
72	シオデ	サルトリイバラ		147	ヨモギ	キク	
73	シシウド	セリ		148	リョウブ	リョウブ	
74	シシガシラ	シシガシラ		149	リョウメンシダ	オシダ	
75	ジュウモンジシダ	オシダ					

他に、下見の下見にあったという種として、イガホウズキ、イヌガンソク、ウゴツクバネウツギ、キカラスウリ、サルナシ、スズメウリ、タニギキョウ、ナツトウダイ なども確認できるかもしれない。

と見つけることができました。他には、ナナカマドは四季を通して色々楽しませてくれることや、紅葉の時期に一番に赤く色づくことはもちろんですが、この時期に咲いている白い花がナナカマドの花だと知りました。

ユキザサの花に白色と黄色があること、そして、ただのシダと思っていたのがシシガシラと

いう名だと聞いて、勝手にジブリの世界を感じ、「もののけ姫」に出てくるシシ神様をイメージしてしまいました。

今回のことで、新たな楽しみが増えました。また機会がありましたら参加したいと思います。ありがとうございました。

《観察会2》

蒲萄池の平 自然観察会



6月16日(日)天候は晴れ。参加者11名(会員)。

国道7号の蒲萄除雪ステーションの脇から旧道に入り歩き始めた。左右から木々の枝が伸び



蒲萄スキー場を背景に

て緑のトンネルが続いていた。右手の藪にはサカゲノイノデ・リョウメンシダ・ジュウモンジシダなどの大きな葉が揺れ、少し進むとトリガタハンショウヅルの花が咲いていた。

途中の「池の平橋」は架け替え工事中だった。古い橋の欄干にツルアジサイがびっしり絡み付き、大型の花が満開。右折して農道に入ると、下の方から水音が聞こえた。池の平川に沿った道脇には、丈の高いオオイタドリやタケニグサ・ワラビ・ゼンマイなどが生い茂り、左側の斜面にはイガハウズキ・キランソウ・コナスビ・トウバナ等、かわいい花たちが咲いていた。



トリガタハンショウヅル



ツルアジサイ



ウツボグサ

木立を抜けてさらに上っていくと、急に上の方が明るくなって空が広がった。まわりを低木と草藪に囲まれて「段々田んぼ」が下から上へ、右から左へ広がる「池の平」に到着した。対岸に目を移すと蒲萄スキー場が臨まれ、リフトも良く見えた。

右手奥の一段高い木立の中に「どんぐり広場」の看板が見え、日陰に入って昼食。トヨで導水した谷川の冷たい水を飲んで生き返る心地がした。ありがたいことに簡易水洗トイレも完備。区長の話では、小学生たちが見学に来るので設置したとのこと。



オハミツバキ

中央の車道を挟んで左手奥は「池の平池」だった。一帯の棚田の用水を賄っているのか、水面は下がって周囲は草に覆われていたが、いくつかのヒシの株が浮いていた。



池の平池

帰る途中、農作業に来られた方に「クマに気をつけら」と車の中から声をかけていただいた。「クマ注意!」という看板や「電気柵」を設置してある個所を見た。水や自然が豊かな「池の平」も、「害獣」との棲み分けの工夫・努力によって維持されているようだ。

(工藤夏 記)

【参加者の声】

有意義な一日

会員(村上)

池の平観察会に参加させて頂き、ありがとうございました。

初夏の草花や珍しい樹木を観察しながら、森の木立の中、自然に触れ、幸せな日でした。また、皆さんとの会話、運動も兼ね、有意義な一日となりました。次回も楽しみにしております。

《お詫び》

7月27日・28日 宿泊研修会の中止と事務処理について

数年ぶりの宿泊研修を計画しましたが、実施直前に旅行担当者の中からコロナ陽性者が出てしまい、少ない担当者で旅行の運営がスムーズに行えるか、また、人数減による旅行費用の増額・大雨注意報の後の道路事情等の不安もあり、中止させていただき、申し訳ありませんでした。

経費について、宿泊費・バス代のキャンセル料はかかりませんでした。事前申込みの保険料と運転手へのお詫び・しおり作成代（計 13,980 円）、下見のガソリン代・ロープウェイとリフト代（計 7,138 円）を愛好会の研修費より支出させていただきますことをご了承ください。

担当 安達

《連絡 1》

アカハネバツタの保全

昨夏の猛暑で絶滅が危惧されるアカハネバツタ。この危機を乗り越える対策として、環境省では少人数で幼虫を捕獲、専門の施設で飼育し、繁殖期になって現地へ戻すという方針をたてました。

6月初めに9個体（メス4、オス5）を捕獲。7月20日現在、オスは全個体成虫に、メスは終齢へと順調に成長を遂げております。飼育でカワラヨモギを食草とすること、2年前から保全活動を行ってきた北側エリアにまで分布を広げていることがわかりました。



アカハネバツタ幼虫脱皮
(3齢-4齢)

その後、8月に入って2組のペアが誕生。交尾を確認することができました。活動期を終え、涼しくなった10月に、プラゴミ拾いなど環境保全の活動を行いたいと思います。これには平林小学校の皆さんも参加の予定です。ご案内の折りにはご協力をお願いします。

《連絡 2》

東俣林道観察会の中止について

9月末に予定されていた関川村東俣林道の観察会を中止いたします。

7月21日に事務局の4人で下見を行ってきましたが、駐車場のすぐ先の林道（登山道）が大きく谷底へ削られていたり、崩落危険箇所があったりしたためです。また、山ヒルもいて休憩場所、昼食場所の安全が確保できないと判断し、中止といたしました。

《連絡 3》

環境フェスタ in 村上

10月5日(土)に、今年も「環境フェスタ in 村上」が開催されます。会場は、神林農村環境改善センターです。

当会では、これまで、地域の自然調査の成果を展示・掲示して市民に地域の自然を紹介してきました。今回は、「高坪山の自然」のうち主に植物について、調査結果と魅力などを標本や写真を利用して紹介したいと思っております。

詳細は後日担当者による打合せで決定し、会員の皆様にも案内をしたいと思っておりますので、是非、足をお運びください。



次の方が入会しました。

工藤泰 さん（村上）
伊与部 さん（村上）
佐藤美 さん（前号の氏名訂正）

よろしくお願ひします。

いわふね自然愛好会会報 第60号
発行者：会長代行 梅田温美
〒958-0853 村上市山居町1-3-52
Tel. Fax 0254-53-4493
E-mail : aumeda@lime.ocn.ne.jp

編集：会報担当 斎藤美